第67章 finally節



try-catch構文を抜け出すときに、必ず実行したい処理をfinallyブロックに書くことができます。

```
tyr-catch構文の後ろに続けてfinally節を書きます。例外が発生しても、しなくてもfinallyブロックは実行されます。
// finally01.cs
using System;
class finally01
   public static void Main()
    {
        try
        {
           Console.Write("何か数字を入力してください---");
           string str = Console.ReadLine();
           int x = Int32.Parse(str);
           int y = x / 2;
           Console.WriteLine("今入力した数字を2で割ると{0}です", y);
       }
       catch (Exception e)
           Console.WriteLine("例外が発生しました");
           Console.WriteLine(e.Message);
       finally
           Console.WriteLine("finallyです");
        }
    }
```

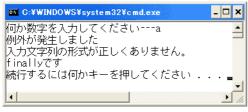
見てわかるように、「数字を入力してください」数字以外の文字を入力すると例外が発生します。

言われたとおり、数字を入力するとその半分の値を出力します。

どちらの場合も「finallyです」という文字列が出力されます。

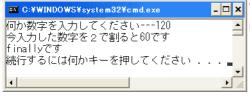
実行結果は、次のようになります。

}



- □ x 数字を入力しなかったために、例外が発生しています。

例外が発生しても、「finallyです」という文字列は表示されます。



- □ × 今度は、例外は発生していません。

「finallyです」という文字列は表示されます。

さて、このプログラムの場合最後の

Console.WriteLine("finallyです");

は、わざわざfinallyブロックに書かなくても結果は同じになります。

ただ、プログラムの見通しをよくするという意味合いですね。

[C# Index] [総合Index] [Previous Chapter] [Next Chapter]

Update 12/Oct/2006 By Y.Kumei

当ホーム・ページの一部または全部を無断で複写、複製、転載あるいはコンピュータ等のファイルに保存することを禁じます。